

資源ごみ

2年連続1万トンを達成



資源を大切にしよう

私たちの日本人は、衣食住と発展の大部分は、人口が何となく大雑把なままに、燃費的に増加しており、経済が、戦後四十数年、経済は発展のための資源は、増大、発展に次ぐ発展を遂げ、資源そのものの食糧に達し、エネルギーも、次から次へとはならない状態となつて、と湯水ののごく費やし、辛いです。

そのうえ、経済的水準が低下している国が、半数以上にもなり、飢餓線上にある国も増加を続けており、さらに、その傾向は悪い方向へと進んでいるといわれています。

私たちは、自治会を始めとする市民一人一人の協力のためと感謝しています。そして、ごみ処理費を節約することにより、環境保全、資源保護に役立てたいと思います。ぜひ、これからもごみの分別収集にご協力をお願いします。

ごみの分別収集 二年を迎えた新平塚方式

資源ごみ買い上げ量

昭和61年～63年12月まで

連合自治会名	世帯数	61年度 kg	62年度 kg	63年度 kg	買い上げ金 円
なでしこ	2,549	349,090	353,900	284,940	7,903,440
花水	5,801	927,060	954,770	765,110	21,095,520
富士見	5,646	989,385	1,058,550	820,460	22,947,160
南原	1,549	140,590	156,150	133,850	3,444,720
中原	5,717	623,483	567,180	429,540	12,321,624
松ガ之	2,162	221,830	244,940	176,580	5,146,800
四宮	2,847	395,577	423,190	332,800	8,972,536
栗田	3,129	218,881	249,330	221,070	5,514,088
志	4,911	543,315	628,150	622,810	15,954,200
東郷	2,575	334,310	477,660	393,040	9,640,080
北原	1,592	203,190	291,530	234,590	5,834,480
松原	1,911	207,295	277,825	179,270	5,315,920
八幡	3,205	236,863	377,915	326,393	7,529,369
旭	5,002	376,223	562,360	472,800	11,291,864
旭	5,621	433,895	564,250	416,960	11,320,840
田村	2,853	156,140	377,820	281,880	6,526,720
田村	3,670	154,710	400,790	288,500	6,832,000
大塚	1,367	59,390	152,320	124,230	2,687,520
大塚	1,331	105,740	241,340	205,500	4,420,640
大塚	1,418	98,615	208,395	150,760	5,969,040
大塚	2,340	128,880	336,740	280,530	5,969,040
大塚	2,664	272,380	694,070	532,280	11,989,840
大塚	6,493	134,130	294,815	256,410	5,482,840
大塚	758	56,590	100,015	73,000	1,836,840
大塚	498	49,680	146,955	143,920	2,724,440
合 計	77,405	7,297,202	10,361,060	8,137,323	206,364,680

資金力で資源や食糧を集める日本では、とても理解できないかも知れません。また、炭酸ガス(CO₂)やフロンガスによる地球の温暖化現象が、新聞紙になくさんあるようになり、報道によくと、数十年後は、地球全無に成るにあると思っているか、(内線三〇二)と、

体の温度が一五度から二度も上昇し、南極、北極の水が溶け、海水面が一メートル前後上昇するといわれています。こうなると、世界はどたがいの水、環境防かす。市街のみならず、資源を大切にすることを意味からも、ごみの分別収集にご協力ください。

●問い合わせ 環境衛生業務課 (内線三〇二)

地球が何百万年かかっていた化石燃料や石油、石炭のうち石油は数千年で、石炭は二千年で使い果たすことになります。

また、地球の砂漠化も進んでいます。今世紀だけで地球上の多くの砂が失われ、この砂も、地球誕生以来五十億年かかっていたものなのです。

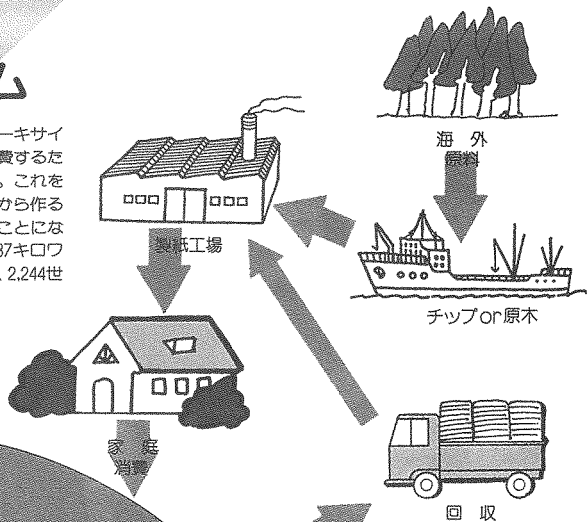
我々は、地球を消費しすぎてはいないでしょうか。物を大切に、資源を大切に、環境を保護することが大切で、子供たちに緑の地球、楽しい生活を残すことは、我々大人の義務です。

平塚市の資源化リサイクルは、昨年度に続いて今年も一万トン達成しようとしています。これは、本市が他の市に先けて、地球への貢献を行っていることを意味しています。市民のみならず、資源を大切にすることを意味からも、ごみの分別収集にご協力ください。

リサイクルマップ

電気の缶詰 アルミニウム

アルミニウムは、原料であるボーキサイトを溶解するとき非常に電力を消費するため、電気の缶詰といわれています。これをリサイクルすると、ボーキサイトから作る場合の27分の1の電力量でできることになります。この節電量は、512万2,937キロワット(kwh)で、世帯数に直すと、2,244世帯の1年分の節電となります。



古紙は地球の緑を守る

古紙1トンで原木20本の節約

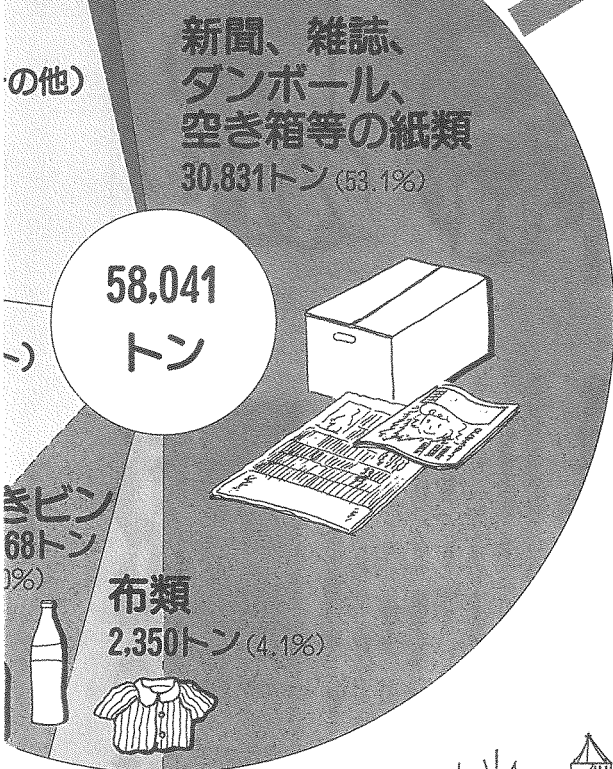
紙1トンつくる材料は、緑の原木20本分にあたります。これを平塚市のリサイクル分に当てはめてみると、原木61万6620本分を助けたことになります。実際にこれだけの原木を得るためには、熱帯雨林地方の1,233.24ヘクタールの原木を切り倒さなければいけません。この面積は、平塚市の18倍、神奈川県全体の半分の面積に当たり、熱帯雨林地帯の存続に役立っています。

1万6200世帯1年分の節電

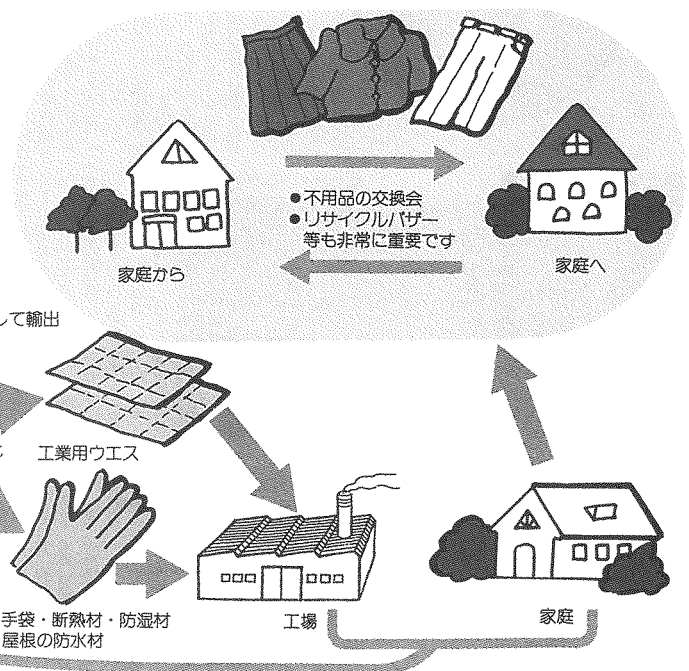
また、紙にするエネルギー量は、電力に直すと、3699万7200キロワット(kwh)で、1万6200世帯の1年分が節電となります。

紙類は名刺 1枚でも資源

資源になる物	新聞紙、週刊誌、月刊誌 菓子や靴等の空き箱 ダンボール箱、メモ用紙 使わなくなったノート類 ちらし、びら類 郵便物、包装紙 紙袋等
回収できない物	油紙、ろう加工紙 カーボン紙、セロハン紙 布クロス紙 レザークロス紙



古紙は立派な都市資源、何度でも私たちの生活に役立ってくれます。



いるとどうでしょ
28,600円です。こ
にもなり、ばく大

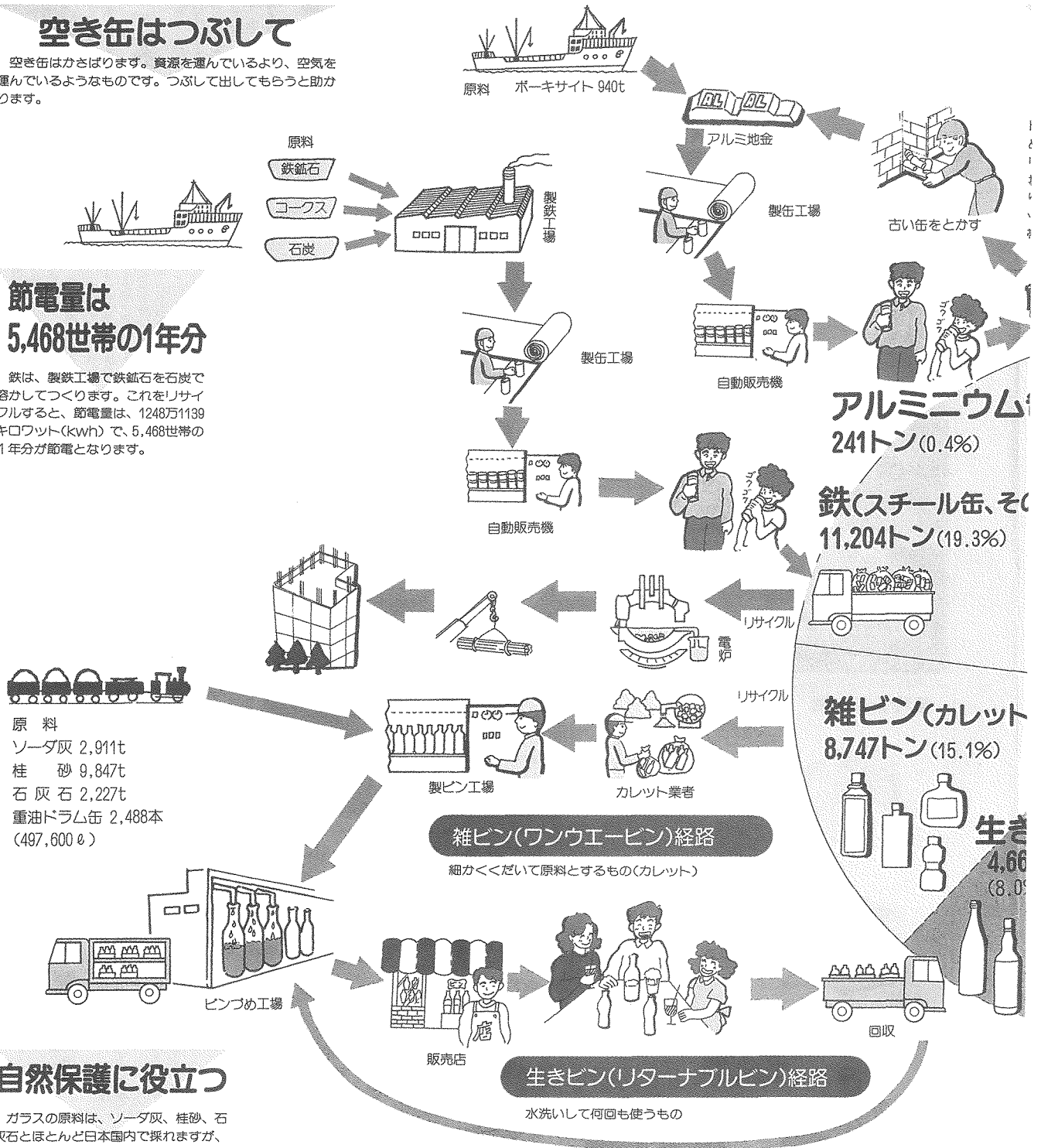
昭和52年から63年までの平塚市の

空き缶はつぶして

空き缶はかさばります。資源を運んでいるより、空気を運んでいるようなものです。つぶして出してもらえると助かります。

節電量は 5,468世帯の1年分

鉄は、製鉄工場で鉄鉱石を石炭で溶かしてつくります。これをリサイクルすると、節電量は、1248万1139キロワット(kwh)で、5,468世帯の1年分が節電となります。



自然保護に役立つ

ガラスの原料は、ソーダ灰、桂砂、石灰石とほとんど日本国内で採れますが、リサイクルにより、その分だけ日本の自然を破壊しないですみます。

生きビン(リターナブルビン)を使うようにしましょう。このビンは、何回も使えます。壊れないように中身を抜いて、販売店やごみステーションに出しましょう。

58,041トンこれだけが全部ごみになってう。60年度のトン当たり処理経費は、約これに58,041トンをかけると16億5997万円な経費の削減になります。

